

沙流川平取地区水害タイムライン

第5回検討会 開催概要

平成28年10月26日(水)に平取町で「沙流川平取地区水害タイムライン第5回検討会」を開催しました。

「タイムライン」は「事前防災行動計画」とも呼ばれ、本検討会では、沙流川平取地区で水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携し、状況に合わせて防災行動をとるための検討を行っています。

第5回検討会は当初9月の開催を予定していましたが、8月下旬に道内各地で発生した大雨災害の影響により10月に延期されました。第4回検討会后にタイムライン一次案を参加機関に再度確認・修正して頂いた結果を用いて、第4回同様「読み合わせ形式」で各機関の防災行動の文言・役割分担・連携事項などを確認しました。沙流川平取地区水害タイムライン一次案の一通りの確認・修正が完了したため、結果を反映した「タイムライン訓練試行版」を用いて、次回検討会では、水害シナリオに基づくタイムライン運用の検証訓練を行う予定としています。



【実施日時】 平成28年10月26日(水) 13:00~17:00

【実施場所】 平取町中央公民館 大ホール

【参加者】 沙流川流域の防災関係機関 15機関 48名

※座長・副座長・アドバイザー、オブザーバー、事務局機関を含む

開会挨拶

事務局・開催地を代表し平取町の川上町長から開会挨拶がありました。8月の台風では平取町でも被害が生じたため、復旧に全力を尽くしている現状についてお話しされるとともに、町の防対対応としては、タイムライン検討を通じて迅速な対応をすることができ、とても役に立ったと振り返られました。タイムライン検討も佳境に入ってきており、次回の訓練に向けて実りある検討会となるよう、参加機関に協力をお願いして、お話を閉じられました。



ワークショップ



松尾座長の挨拶では、今年の台風を振り返り、これまでになかった進路であったことや記録的な雨量となったことなどを踏まえると、これまでの経験則だけではなく、現在実施している検討会のように、各機関が互いの防災行動を出し合い、確認し合って早めに行動することがとても重要であるとお話がありました。

挨拶に続き、事務局から第4回及びその後に関係機関から頂いた確認・修正意見を反映したタイムライン一次案と、事務局での防災行動の整理方針について説明を行いました。行動細目の時系列整理やタイムラインに記載する防災行動の範囲、各対応段階を「タイムラインレベル」という表現で統一することなどについて参加者に事務局案を諮り、全体で了承されました。

その後、第4回と同様にタイムラインの時系列に基づき、各機関の防災行動の内容・主体及び支援機関・機関連携事項を確認するワークショップを行いました。参加機関同士で確認が必要な点の質疑応答が行われたほか、特に他の機関と連携が必要な項目や情報のやりとりが不明確な項目は、その都度進行を止めて主体機関から説明を頂き、共有していきました。参加機関の協力もあり、時間内に一通りの確認を完了することができました。



次回(第6回検討会;検証訓練)は、今回の修正結果を反映した「訓練試行版」を用い、実際の水害場面で起こり得る現象や情報提供機関からの提供情報に基づいてレベルの切替や町の意味決定、各機関の防災行動を確認し、タイムラインの円滑な運用に向けた確認・調整を行う予定です。